

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

平成 31 年度

編入学 小論文試験問題

( 100 点 )  
( 60 分 )

千葉県立保健医療大学 健康科学部  
看護学科

注意事項

1. 問題冊子は、表紙を除き 3 頁である。
2. 問題冊子及び解答用紙の印刷が不鮮明などの場合には、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答は、必ず黒の鉛筆（シャープペンシルも可）で解答用紙に記入すること。
4. 試験終了後、問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。
5. 不正行為に対しては厳正に対処します。

**【問題 1】** 英文を読んで、以下の問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

出典：Ministry of Health, Labour and Welfare：Service Guide 2017, p7. 一部改変

問 1. 下線部①を和訳しなさい。

問 2. 下線部①の具体的な内容について、3つを日本語で箇条書きで答えなさい。

**【問題 2】** 下記の図表は、わが国のがん患者の就業に関する現状を示しています。以下の問いに答えなさい。

**問 1** 図 1、表 1、表 2 から読み取った事実を元に、わが国のがん患者の就労における課題を、360 字以上 400 字以内でまとめなさい。ただし、原稿用紙の使い方に従うこと。

**問 2** 問 1 の課題を踏まえ、がん患者の就労を支援する看護職の役割について、あなたの考えを 250 字以上 300 字以内で述べなさい。ただし、原稿用紙の使い方に従うこと。

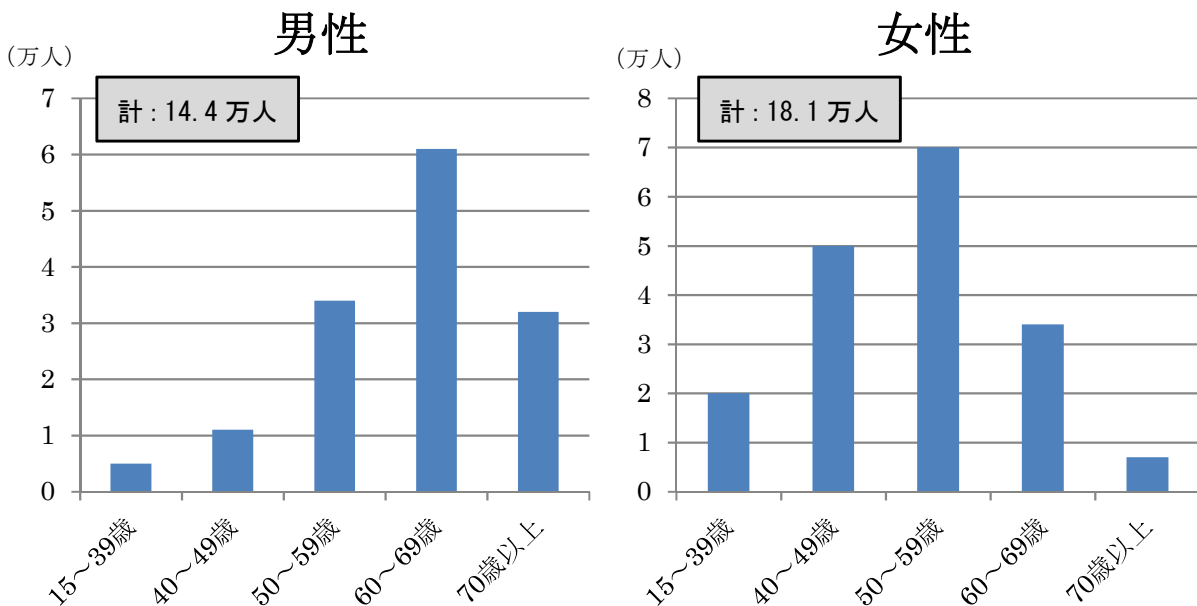


図 1 仕事をもちながら悪性新生物で通院している者

\*仕事をもっているとは、調査月に収入を伴う仕事を少しでもしたことを行い、被雇用者のほか、自営業主、家族従事者等を含む

出典：厚生労働省「平成 22 年国民生活基礎調査」を元に、同省健康局にて特別集計したもの

表1 がんと診断されてからの仕事の状況の変化

<被雇用者>

お勤めの方	2013年		2003年	
	実数	(%)	実数	(%)
現在も勤務している	779	(47.9)	1,249	(47.6)
休職中である	155	(9.5)	229	(8.7)
依願退職した	496	(30.5)	799	(30.5)
解雇された	66	(4.1)	111	(4.2)
その他	132	(8.1)	237	(9.0)
回答者計	1,628	(100.0)	2,625	(100.0)

<自営業>

自営、単独、家族従業者	2013年		2003年	
	実数	(%)	実数	(%)
現在も営業中である	330	(65.5)	694	(68.0)
休業中である	37	(7.3)	79	(7.7)
従事していない	31	(6.2)	58	(5.7)
廃業した	86	(17.1)	135	(13.2)
代替わりした	13	(2.6)	41	(4.0)
その他	7	(1.4)	14	(1.4)
回答者計	504	(100.0)	1,021	(100.0)

出典：「がんの社会学」に関する研究グループ（研究代表者 山口 建）：2013 がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査報告書 がん向き合った4,054人の声, p70. 改変

表2 がん診療連携拠点病院相談支援センターにおける相談の内容のうち、「働くこと」に関する相談や話の内容（複数回答可）

内 容	割合 (%)
生活費・治療費、保険など経済面について	64
仕事と治療の両立の仕方	39
仕事復帰の時期	30
仕事の継続・復帰に向けて準備の仕方	25
継続・復帰後の仕事の仕方	25
メンタル面について	18
職場の人間関係	15
家族のサポートの仕方	14
就業支援のための職場の制度・体制について	11
就業支援のための国や民間の制度・体制について	8

\*がん診療連携拠点病院で従事する相談員 315 人に経験のある相談内容を調査したもの

出典：NPO 法人がんサポーターズ協会調べ（平成 21 年）改変